

標準塗装仕様書

● 金属屋根

工程	商品名	塗回数	標準膜厚 ($\mu\text{m}/\text{回}$)	標準塗布量 (kg/m^2)	希釈剤	缶当り 塗布面積 (m^2)
1	下地処理	ケレン、水洗い等: 錆はワイヤーブラシ等でケレン。浮き膜は除去する(サンダーケレン)。油脂分や埃を除去清掃。下地の水分をなくすこと(完全乾燥)。				
2	防錆密着プライマー 「サームプライマー」	1	30~50	0.15~0.22	「サームプライマーシンナー」 (0~5%)	80~120
3	セラミック遮熱・断熱塗料 「クールサーム」	1~2	120~180	0.37~0.4	清水 (0~10%)	70
4	トップコート(弱溶剤) 「エナモトップAB」	1	30~40	0.2~0.25	「専用シンナー」 (0~10%)	60~70

- 「サームプライマー」塗装後、16時間以上乾燥させてから「クールサーム」1回目を塗装して下さい。
- トップコート塗装は「クールサーム」が十分に乾燥したのを確認してから塗装して下さい。
- 1度に厚く塗ると、塗膜が割れる可能性があります。塗りにくい場合は、2回に分けて塗装されることをおすすめします。
- 「クールサーム」1回目を塗装後、2~4時間以上あけて「クールサーム」2回目を塗装して下さい。

● スレート屋根 (古い屋根)

工程	商品名	塗回数	標準膜厚 ($\mu\text{m}/\text{回}$)	標準塗布量 (kg/m^2)	希釈剤	缶当り 塗布面積 (m^2)
1	下地処理	ケレン清掃: 表層の苔や土砂、油分等を取り除く。フックボルトのケレン、錆止め塗装。クラック等の防水補修。フックボルトの増締め。				
2	下地固定剤(エポキシ系) 「CTプライマー」	1~2	—	0.3~0.5	希釈しない (必要な場合はエポキシ系シンナー10%以内)	30~50
3	ベース材 「エラストベース」	1	100~120	0.3~0.35	清水 (0~10%)	75~85
	増強工法用ベース材 「増強ベース」	2	600~800	1.2~1.5	清水	30~40
4	セラミック遮熱・断熱塗料 「クールサーム」	1~2	120~180	0.37~0.4	清水 (0~10%)	70
5	トップコート(弱溶剤) 「エナモトップAB」	1	30~40	0.2~0.25	「専用シンナー」 (0~10%)	60~70

- 「CTプライマー」の2回目は1回目に塗装した塗膜が乾燥してから行って下さい。(新しいスレートの場合は1回のみ)
- 「エラストベース」を塗装後、4時間以上あけて「クールサーム」を塗装して下さい。

塗装上の注意

- 「クールサーム」はエマルジョン塗料ですから乾燥不十分の場合、雨や夜露で塗膜が流出することがあります。降雨が予想される時及び気温が 5°C 以下の時は塗装しないで下さい。
- 一度に厚塗りするのは避けて下さい。
- 塗膜乾燥後、最初の降雨で「泡」が発生することがありますが、これは塗膜表面の界面活性剤が流れたもので害はありません。
- いずれの塗料も使用前によく攪拌して下さい。また、使用後はしっかりと密閉し冷暗所に保管して下さい。

● 各種屋上

工程	商品名	塗回数	標準膜厚 ($\mu\text{m}/\text{回}$)	標準塗布量 (kg/m^2)	希釈剤	缶当り 塗布面積 (m^2)
1	下地処理	ケレン清掃: 表層の苔や土砂、油分等を取り除く。				
2	下塗り	下地に適した下地調整材を使用して下さい。				
3	セラミック遮熱・断熱塗料 「クールサーム」	1~2	120~180	0.37~0.4	清水 (0~10%)	70
4	トップコート(弱溶剤) 「エナモトップAB」	2	40~50	0.3	「専用シンナー」 (0~10%)	45~50

- 溶剤系塗料はアスファルト防水を侵しますので、トップコートは水性、又は弱溶剤を使用して下さい。(下記参照)
- 勾配のない屋上は水たまりが発生し塗膜を劣化させますので、必ずトップコートを使用して下さい。
- 各種シート防水、塗膜防水の仕様については、弊社営業担当までお問合せ下さい。

● 各種外壁

工程	商品名	塗回数	標準膜厚 ($\mu\text{m}/\text{回}$)	標準塗布量 (kg/m^2)	希釈剤	缶当り 塗布面積 (m^2)
1	下地処理	下地の材質や状況に合わせて必要な下地処理及び下地補修をして下さい。				
2	下塗り	下地に適した下地調整材を使用して下さい。				
3	セラミック遮熱・断熱塗料 「クールサーム」	1~2	120~180	0.37~0.4	清水 (0~10%)	70
4	トップコート(弱溶剤) 「エナモトップAB」	1~2	30~50	0.2~0.3	「専用シンナー」 (0~10%)	45~70

● 屋根用各種トップコート エナモトップAB(弱溶剤型)以外に下記の商品を用意しています。

	商品名	塗回数	標準膜厚 ($\mu\text{m}/\text{回}$)	標準塗布量 (kg/m^2)	希釈剤	缶当り 塗布面積 (m^2)
1	(溶剤形) 「エナモトップ」	1	30~40	0.16~0.2	「専用シンナー」 (夏5:1、冬6:1)	80~100
2	(水性) 「エナモトップW-ハルズ」	1	30~40	0.2~0.25	清水 (0~10%)	60~70
3	(弱溶剤形) 「エナモトップ Si」	1	30	0.16~0.2	「専用シンナー」 (0~1.5 L)	75~90

- 屋根塗装工事に際しては、下地状況や既存塗膜面及び既存防水層の種類の総合的な診断を行い、適切な塗装システムをご提案致します。
- クールサームは紫外線を吸収しないので長期の寿命を保ちますが、トップコートはおおむね7~8年で劣化しますので、早めの塗り替えをお勧め致します。